



第80回国民スポーツ大会
青森県準備委員会

第9回広報・県民運動専門委員会

書面開催資料

書面開催日：令和3年11月26日（金）



きら
青の煌めきあおもり国スポ
2026 翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会
第9回広報・県民運動専門委員会資料

目 次

○ 書面開催項目	P 1
○ 委員名簿	P 2
○ 説明・報告事項	
1 第80回国民スポーツ大会準備経過	P 3
2 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項	P 10
3 青の煌 ^{きら} めきダンスの完成について	P 11
4 マスコットキャラクター「アップリート君」展開形（冬季大会競技） の新規デザインについて	P 12
○ 審議事項	
1 青の煌 ^{きら} めき県民運動リーフレット（案）について	P 13
2 広報ボランティア募集要項（案）について	P 25
3 運営ボランティア募集要項（案）について	P 28
○ 参考資料	
第6回総会決定事項	(別冊)

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会 第9回広報・県民運動専門委員会 項目

期日：令和3年11月26日（金）

1 説明・報告事項

- (1) 第80回国民スポーツ大会準備経過
- (2) 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項
- (3) 青の煌めき^{きら}ダンスの完成について
- (4) マスコットキャラクター「アップリート君」展開形（冬季大会競技）の新規デザインについて

2 審議事項

- (1) 青の煌めき^{きら}県民運動リーフレット（案）について
- (2) 広報ボランティア募集要項（案）について
- (3) 運営ボランティア募集要項（案）について

広報・県民運動専門委員会 委員名簿

(敬称略)

区分	機関・団体名	役 職	委員氏名
報道	青森放送株式会社	報道部長	蒔田 修弘
	株式会社青森テレビ	報道制作部長	塩越 哲也
	青森朝日放送株式会社	報道部長	齋 貴宗
	日本放送協会青森放送局	コンテンツセンター長	河野 糧祐
	株式会社東奥日報社	報道部次長	松田 啓志
	株式会社陸奥新報社青森支社	編集部長	下山 和枝
	株式会社デーリー東北新聞社青森支社	編集部長	齋藤 桂
	株式会社エフエム青森	放送部長	鈴木 耕治
経済	青森県商工会議所連合会 (青森商工会議所)	地域振興部長	橋本 寛行
	青森県商工会連合会	総務組織課長	井上 英治
	青森県中小企業団体中央会	事務局次長	船水 礼子
観光	公益社団法人青森県観光連盟	事務局長	佐藤 満
学識経験者	公立大学法人青森公立大学	教授	香取 真理
社会・福祉	社会福祉法人青森県社会福祉協議会	事務局長	高橋 金一
	公益財団法人青森県老人クラブ連合会	事務局長	五戸 秀樹
	青森県地域婦人団体連合会	事務局長	宮川 春子
スポーツ	青森県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	会長	鹿内 葵
学校	青森県小学校長会	広報部長	野沢 寿恵
	青森県中学校長会	副会長	横山 仁
	青森県高等学校長協会	常任理事	岩川 亘宏
	青森県特別支援学校校長会	副会長	古木名 博
	青森県私立中学高等学校長協会	事務局長	嶋津 泰久
市町村	青森市広報広聴課	課長	沢木 正明
	おいらせ町総務課	課長	西館 道幸
県	企画政策部広報広聴課	課長	齋藤 桂一
	環境生活部県民生活文化課	課長	館 栄
	観光国際戦略局観光企画課	課長	鈴木 耕司

第 80 回 国民スポーツ大会 準備経過

年 月 日	内 容
平成 25 年 6 月 24 日	公益財団法人青森県体育協会（以下「県体育協会」とする。）が、平成 37 年に開催の第 80 回国民体育大会本大会の招致に関する要望書を県、県議会及び県教育委員会に提出
平成 26 年 6 月 28 日 ～平成 27 年 7 月 23 日	県教育委員会において、青森県国体検討懇話会を設置し、「青森県らしい国体のあり方」等について検討（全 6 回開催）
8 月 26 日	青森県国体検討懇話会の検討結果報告書について、同懇話会座長が知事及び教育長に報告
9 月 10 日	平成 27 年度第 2 回青森県総合教育会議において、第 80 回国民体育大会本大会の招致について知事と教育委員会が協議
9 月 18 日	平成 27 年 9 月青森県議会第 283 回定例会冒頭の提出議案知事説明において、知事が平成 37 年に開催される第 80 回国民体育大会本大会の本県招致について表明
10 月 9 日	同上定例会において、県議会が「第 80 回国民体育大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
11 月 20 日	知事、教育長、県体育協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出
平成 28 年 1 月 13 日	公益財団法人日本体育協会理事会において、開催申請書提出順序の了解（開催内々定）
4 月 1 日	県教育庁スポーツ健康課内に国体準備室を設置（5 名体制）
8 月 31 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会設立総会・第 1 回総会及び第 1 回常任委員会を開催
10 月 21 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 1 回総務企画専門委員会を開催
10 月 25 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 1 回競技運営専門委員会を開催
11 月 10 日	第 80 回国民体育大会市町村担当者会議及び競技団体担当者会議を開催
平成 29 年 3 月 28 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 2 回総務企画専門委員会を開催
4 月 1 日	国体準備室員を増員（7 名体制）
4 月 19 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 2 回常任委員会を開催
5 月 24 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 2 回総会を開催
7 月 13 日	第 80 回国民体育大会青森県準備委員会第 2 回競技運営専門委員会を開催

年 月 日	内 容
7月20日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回広報・県民運動専門委員会を開催
8月30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回施設専門委員会を開催
10月23日	第80回国民体育大会第1回会場地市町村・競技団体担当者会議を開催
10月26日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催
11月 1日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
12月12日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
12月18日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成30年 1月15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回常任委員会を開催
1月22日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第1回開催基本構想策定検討部会を開催
1月24日	第80回国民体育大会第1回公開競技・デモンストラーションスポーツ担当者会議及び第2回市町村担当者会議を開催
3月14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第2回開催基本構想策定検討部会を開催
4月 1日	国体準備室員を増員（8名体制）
5月14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催
5月15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回広報・県民運動専門委員会を開催
6月 6日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回常任委員会を開催
7月10日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総会を開催
8月30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会を第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会に改称
9月 5日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回施設専門委員会を開催
10月18日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回競技運営専門委員会を開催
11月 1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回広報・県民運動専門委員会を開催
〃	国体準備室を国民スポーツ大会準備室に改称

年 月 日	内 容
1 1月 16日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
1 2月 21日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回常任委員会を開催
平成31年 3月 28日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回競技運営専門委員会を開催
4月 1日	県教育委員会から業務を移管し、県企画政策部に国民スポーツ大会準備室を設置（14名体制）
4月 22日	第80回国民スポーツ大会第2回会場地市町村担当者会議を開催
令和元年 5月 9日	中央競技団体正規視察（ゴルフ）
5月 10日	
5月 16日	中央競技団体正規視察（卓球）
5月 22日	中央競技団体正規視察（バドミントン）
5月 23日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回総務企画専門委員会を開催
5月 24日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回広報・県民運動専門委員会を開催
5月 28日	中央競技団体正規視察（高等学校野球）
5月 29日	
6月 14日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回常任委員会を開催
6月 20日	中央競技団体正規視察（カヌー）
6月 20日	中央競技団体正規視察（セーリング）
6月 26日	中央競技団体正規視察（弓道）
6月 27日	中央競技団体正規視察（スポーツクライミング）
7月 1日	中央競技団体正規視察（ソフトボール）
7月 2日	
7月 3日	
7月 3日	中央競技団体正規視察（テニス）
7月 4日	中央競技団体正規視察（サッカー）
7月 5日	
7月 10日	中央競技団体正規視察（ラグビーフットボール）
7月 11日	
7月 18日	中央競技団体正規視察（ソフトテニス）
7月 22日	中央競技団体正規視察（自転車）
7月 23日	
7月 26日	中央競技団体正規視察（クレール射撃）

年 月 日	内 容
7月29日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回総会を開催
7月30日	中央競技団体正規視察（剣道）
7月30日	中央競技団体正規視察（体操）
8月2日	中央競技団体正規視察（ホッケー）
8月9日	中央競技団体正規視察（フェンシング）
8月15日	中央競技団体正規視察（相撲）
8月19日	中央競技団体正規視察（陸上競技）
8月23日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回宿泊専門委員会を開催
8月29日	中央競技団体正規視察（空手道）
8月30日	中央競技団体正規視察（なぎなた）
9月3日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回輸送・交通専門委員会を開催
9月11日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回式典専門委員会を開催
9月26日	中央競技団体正規視察（銃剣道）
10月8日	中央競技団体正規視察（ボート）
10月9日	中央競技団体正規視察（バレーボール）
10月10日	
10月15日	中央競技団体正規視察（ハンドボール）
10月17日	中央競技団体正規視察（レスリング）
10月23日	中央競技団体正規視察（柔道）
10月29日	中央競技団体正規視察（ウエイトリフティング）
10月30日	中央競技団体正規視察（軟式野球）
10月31日	
10月31日	公益財団法人日本スポーツ協会が、知事、公益財団法人青森県スポーツ協会会長、教育長に第80回国民スポーツ大会冬季大会の開催を依頼
11月1日	中央競技団体正規視察（アーチェリー）
11月6日	中央競技団体正規視察（ライフル射撃）
11月7日	
11月13日	中央競技団体正規視察（ボウリング）
11月20日	中央競技団体正規視察（トライアスロン）
11月27日	中央競技団体正規視察（馬術）

年 月 日	内 容
1 1 月 2 8 日	令和元年11月青森県議会第300回定例会の一般質問において知事が第80回国民スポーツ大会冬季大会を開催することについて表明
1 2 月 1 6 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回広報・県民運動専門委員会を開催
令和2年 1 月 1 4 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回常任委員会を開催
1 月 1 5 日	中央競技団体正規視察（バスケットボール）
1 月 1 6 日	
2 月 1 3 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回競技運営専門委員会を開催
2 月 2 8 日	中央競技団体正規視察（水泳・飛込）
4 月 1 日	国民スポーツ大会準備室員を増員（19名体制）
4 月 2 4 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第3回施設専門委員会を開催（書面決議）
5 月 1 1 日	第80回国民スポーツ大会第3回会場地市町村担当者会議を開催（書面開催）
5 月 1 5 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第8回総務企画専門委員会を開催（書面決議）
5 月 2 8 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回広報・県民運動専門委員会を開催（書面開催）
6 月 1 日	知事、教育長、県スポーツ協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本スポーツ協会に開催申請書を提出
6 月 1 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第8回常任委員会を開催（書面決議）
6 月 2 6 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回競技運営専門委員会を開催（書面決議）
7 月 2 2 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回総会を開催（書面決議）
9 月 2 5 日	公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、鹿児島県、及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の4者が第75回鹿児島国体を令和5年に開催することを決定し、これにより第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）を令和8年に一年延期することが決定
1 0 月 8 日	公益財団法人日本スポーツ協会臨時理事会において、第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）の開催地として内定
1 0 月 2 7 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回警備・消防専門委員会を開催
1 0 月 2 8 日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回医事・衛生専門委員会を開催

年 月 日	内 容
1 2 月 1 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 1 回水泳（飛込）競技運営専門委員会を開催（書面決議）
〃	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 1 回馬術競技運営専門委員会を開催（書面決議）
1 2 月 2 1 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 1 回馬術競技運営専門委員会馬事衛生部会を開催（書面開催）
1 2 月 2 2 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 2 回宿泊専門委員会を開催
令和 3 年 1 月 1 3 日	令和 2 年度第 2 回国体開催県検討会議を開催（オンライン開催）
1 月 2 0 日	第 8 0 回国民スポーツ大会第 3 回市町村担当者会議・第 3 回競技団体担当者会議を開催
1 月 2 2 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 9 回総務企画専門委員会を開催
2 月 1 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 9 回常任委員会を開催
4 月 1 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 8 回広報・県民運動専門委員会を開催
4 月 2 7 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 4 回施設専門委員会を開催
5 月 2 8 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 8 回競技運営専門委員会を開催
6 月 9 日	令和 3 年度第 1 回国体開催県検討会議を開催（オンライン開催）
7 月 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 6 回総会を開催（書面決議）
7 月 3 0 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 2 回輸送・交通専門委員会を開催（書面決議）
9 月 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 2 回式典専門委員会を開催（書面決議）
9 月 1 6 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 2 回馬事衛生部会を開催（書面決議）
9 月 3 0 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 2 回水泳（飛込）競技運営専門委員会を開催（書面決議）
1 0 月 2 6 日	中央競技団体正規視察（水泳（競泳・水球・AS・OWS））
1 0 月 2 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会青森県準備委員会第 2 回馬術競技運営専門委員会を開催（書面決議）
1 0 月 2 9 日	第 8 0 回国民スポーツ大会第 4 回市町村担当者会議を開催（w e b 説明）

年 月 日	内 容
10月29日	第80回国民スポーツ大会第4回会場地市町村担当者会議・第4回競技団体担当者会議を開催（web説明）
10月29日	第80回国民スポーツ大会第1回会場地市町村宿泊・輸送担当者会議を開催（web説明）
11月17日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第9回競技運営専門委員会を開催（書面決議）
11月22日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回医事・衛生専門委員会を開催（書面開催）
11月22日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第3回宿泊専門委員会を開催（書面開催）
11月22日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回警備消防専門委員会を開催（書面決議）

第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項

第 8 回広報・県民運動専門委員会以降に開催した総会での決定事項は、下記のとおりである。

記

1 第 6 回総会決定事項【令和 3 年 7 月 9 日開催】

- ・ 第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会令和 2 年度事業報告
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会令和 2 年度収支決算
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会令和 3 年度事業計画
- ・ 第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会令和 3 年度収支予算

青の煌^{きら}めきダンスの完成について

1 青の煌^{きら}めきダンスの振付について

「青の煌^{きら}めきあおもり国スポ（第80回国民スポーツ大会）」（以下、「あおもり国スポ」という。）のイメージソング「翔ける未来へ」の歌詞やリズムにあった、踊りやすく青森らしさを取り入れたダンスをコンセプトに、振付制作を青森県女子体育連盟に委託し、小学校高学年から中・高校生、ダンス経験者までが十分に楽しめる「スタンダードバージョン」、幼稚園児や保育園児、小学校低学年が簡単にダンスを楽しめる「イージーバージョン」、身体障害者や高齢者等が座って楽しめる「シッティングバージョン」の3つのバージョンの振付が完成した。

2 ダンス普及用DVDの制作について

有限会社リンゴミュージックに委託し、青森県女子体育連盟の指導のもと、イメージソングの歌唱者であるRINGOMUSUME（りんご娘）のメンバーやプロパフォーマンスユニットBLUE TOKYO（ブルートーキョー）のメンバー、青森県立青森西高等学校、青森県立青森北高等学校、青森県立木造高等学校、青森市立東中学校の生徒がダンスのスタンダードバージョンを踊る団体演技映像と、団体演技映像撮影時の様子やRINGOMUSUME及びBLUE TOKYOからのメッセージを盛り込んだPR映像を制作し、令和3年11月26日（金）からあおもり国スポ専用ホームページ等で公開する。

また、青森明の星高等学校及び青森山田高等学校の新体操部の生徒に出演いただき、各バージョンの振付をわかりやすく解説したレッスン映像を制作し、令和4年1月下旬頃に公開する予定である。

今後は、ダンスの団体演技映像及びレッスン映像を収録したダンス普及用DVDを作成し、配布する。

○あおもり国スポ専用ホームページ

<https://aomorikokuspo2026.pref.aomori.lg.jp/>



※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

マスコットキャラクター「アップリート君」展開形（冬季大会競技） の新規デザインについて

冬季大会の競技に係るアップリート君の展開形デザイン8種類（スケート競技3種類、アイスホッケー競技1種類、スキー競技4種類）を新たに作成した。



スピードスケート



フィギュアスケート



ショートトラック



アイスホッケー



ジャイアントスラローム



スペシャルジャンプ



コンバインド



クロスカントリー

青の^{きら}煌めき県民運動リーフレット（案）について

青の^{きら}煌めき県民運動 4つの基本目標と具体的な取組

① 君も一緒に大会を盛り上げよう！

基本目標 1

すべての県民が、大会イベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。

- ①大会に関連した行事やイベント等に参加しよう。
 - ・総合開・閉会式の式典前演技や炬火イベント等に参加する。
 - ・大会関係のイベントに参加する。
- ②各競技会場で観戦し、本県及び県外選手を応援しよう。
 - ・競技会場で競技を観戦し、全国レベルのパフォーマンスを体感する。
 - ・手づくりの応援グッズ等を使って、競技会場で本県選手だけでなく、参加するすべての選手にエールを送る。
 - ・学校や団体で各都道府県応援団を結成し、競技会場で選手を応援する。
 - ・ホームページやSNSを通じて、選手への応援メッセージを送る。
 - ・開催競技のルールや見どころを学び理解を深め、熱のこもった応援を行う。
- ③ボランティア活動に参加しよう。
 - ・総合開・閉会式会場や競技会場等で、受付・案内、会場整理、会場美化、会場サービス、式典運営補助、医療救護等のボランティア活動に参加する。
 - ・総合開・閉会式会場や競技会場等で、手話や要約筆記等のボランティア活動に参加する。
 - ・大会のPRを行うボランティア活動に参加する。
- ④募金や企業協賛で国スポを支援しよう。
 - ・公共施設等に設置された募金箱へ寄附する。
 - ・イベント会場等で行われる募金活動に協力する。
- ⑤イメージソング・ダンスを歌って、踊って、楽しもう。
 - ・イメージソングを覚えて、応援や盛り上げに活用する。
 - ・学校や地域をはじめとするイベント等において、大会ダンスを踊り、楽しむ。

② 来県者を熱い心でおもてなししよう！

基本目標 2

すべての県民が、来県者を熱いおもてなしの心で迎える。

- ①笑顔で元気なあいさつと親切・丁寧な対応でもてなそう。
 - ・全国から集まる来県者に明るく元気にあいさつし、笑顔で親切な対応をする。
 - ・公共の場でのマナーアップに積極的に取り組む。
 - ・ヘルプマークへの理解を深め、ヘルプマークを身につけている方が困っているようであれば、声をかける。
- ②きれいな街づくりを心がけ、来県者を歓迎しよう。
 - ・地域の花いっぱい運動に参加する。
 - ・地域の環境美化活動に参加し、ゴミ拾い等の清掃活動を行う。
 - ・総合開・閉会式会場や競技会場の清掃活動に参加する。
 - ・大会期間中は積極的に公共交通機関等の利用に努め、環境にやさしい取組をする。
- ③のぼりや案内看板等で、来県者を歓迎しよう。
 - ・手づくりののぼりや案内看板等の制作に協力し、来県した選手団を温かく迎える。
 - ・ウェルカム・デコレーション（歓迎装飾）づくりに参加する。
- ④郷土料理やご当地グルメ、特産品でおもてなししよう。
 - ・来県者に青森県の食文化を紹介するとともに、郷土料理やご当地グルメ、特産品でもてなす。

④ めいっぱいスポーツを楽しもう！

基本目標3

すべての県民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など様々な関わりを通じて、生涯にわたりスポーツ活動に親しむ。

- ①デモンストラレーションスポーツに参加しよう。
 - ・デモンストラレーションスポーツに参加し、みんなで楽しむ。
 - ・デモンストラレーションスポーツに親しみ、参加者との交流の輪を広げる。
- ②地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室に参加しよう。
 - ・地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室に参加し、スポーツや催し物を楽しむ。
 - ・県内各地で開催されるスポーツ大会に挑戦する。
- ③ライフステージに応じたスポーツ活動を実践しよう。
 - ・自分に合ったスポーツを見つけ、スポーツを楽しむ。
 - ・学校、職場、地域、家庭での健康づくりや体力づくりに取り組む。
- ④プロスポーツや各種スポーツ大会等を観戦・応援しよう。
 - ・地元スポーツチームの試合や地域で行われるスポーツ大会等を観戦し、声援を送る。
 - ・地元選手との交流会に参加する。
 - ・地元スポーツチームを応援するイベントに参加する。
- ⑤地域のスポーツ活動を応援しよう。
 - ・地域のスポーツチームを応援する。

④ 「来てよし、観てよし、食べてよし」な青森県の魅力を発信しよう！

基本目標 4

すべての県民が、来県者との交流を通じて、青森県の多彩な魅力を発信する。

- ①豊かな自然や歴史、文化、食など、青森の多彩な魅力を紹介しよう。
 - ・青森県の豊かな自然や歴史、文化、食などを発信するイベント等に参加し、多彩な青森県の魅力を再認識する。
 - ・ホームページやSNS等で、青森県の魅力を発信する。
- ②地産地消の推進や青森の郷土料理、ご当地グルメ、特産品を紹介しよう。
 - ・県産の食材について知るとともに、青森県の食文化を学ぶ。
 - ・県産の食材を味わう機会を大切にする。
 - ・ホームページやSNS等で、青森県の郷土料理、ご当地グルメ、特産品をPRする。
 - ・青森県の郷土料理や特産品を活用したレシピを紹介する。
- ③地域ブランドを積極的にPRしよう。
 - ・総合開・閉会式会場や競技会場等で、地域ブランドを紹介する。
 - ・地域ブランドを積極的に活用し、ホームページやSNS等で地域の特産品や逸品の魅力を発信する。

青の煌めき^{きら}県民運動推進スケジュール

年度		令和4年度 (開催4年前)	令和5年度 (開催3年前)	令和6年度 (開催2年前)	令和7年度 (開催1年前)	令和8年度 (開催年)
			開催決定		リハーサル大会 冬季大会	国スポ 障スポ
基本 目標 1	大会に関連した行事やイベント等に 参加しよう。				→	→
	各競技会場で観戦し、本県及び県外 選手を応援しよう。				→	→
	ボランティア活動に参加しよう。	→	→	→	→	→
	募金や企業協賛で国スポを支援し よう。		→	→	→	→
	イメージソング・ダンスを歌って、 踊って、楽しもう。	→	→	→	→	→
基本 目標 2	笑顔で元気なあいさつと親切・丁寧 な対応でもてなそう。				→	→
	きれいな街づくりを心がけ、来県者 を歓迎しよう。	→	→	→	→	→
	のぼりや案内看板等で、来県者を 歓迎しよう。				→	→
	郷土料理やご当地グルメ、特産品で おもてなししよう。				→	→
基本 目標 3	デモンストラーションスポーツに参 加しよう。					→
	地域のスポーツイベントや開催競技 の体験教室に参加しよう。	→	→	→	→	→
	ライフステージに応じたスポーツ活 動を実践しよう。	→	→	→	→	→
	プロスポーツや各種スポーツ大会等 を観戦・応援しよう。	→	→	→	→	→
	地域のスポーツ活動を応援しよう。	→	→	→	→	→
基本 目標 4	豊かな自然や歴史、文化、食など、 青森の多彩な魅力を紹介しよう。	→	→	→	→	→
	地産地消の推進や青森の郷土料理、 ご当地グルメ、特産品を紹介し よう。	→	→	→	→	→
	地域ブランドを積極的にPRし よう。	→	→	→	→	→

基本目標と具体的取組

関連する事業									
事業実施課	事業名	実施時期	主たる実施者					参加人数	事業の内容
			市町村	県	国	その他団体	団体名		

(1)すべての県民が、大会イベントやボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。

①総合開・閉会式の運営や出演、炬火イベント等への参加【該当なし】

②各競技会場での観戦や本県及び県外選手の応援【該当なし】

③ボランティア活動への参加

青森市	地域スポーツ課	スポーツコミッション青森推進事業	通年	○					累計申込者数34名	○スポーツボランティアの派遣体制の構築 市内で行われるスポーツイベント等の運営補助等を行う「スポーツボランティア」を募集。
弘前市	弘前市ボランティア支援センター	ボランティアの募集	通年	○					—	ボランティアに関心のある人や活動希望者、ボランティアを必要としている施設・団体などから相談を受け、その人に合った活動の紹介やアドバイスをしたり、活動希望者と受け入れ希望者との橋渡しなどを行っている。
八戸市	障がい福祉課	手話通訳者・手話奉仕員の養成事業	5月募集	○			○	八戸市ろうあ協会	各コース10名程度	毎年度、手話通訳者・手話奉仕員の養成を委託し、実施している。 (令和2年度はコロナの影響で実施せず)
	教育指導課	青少年(中・高生)の地域活動	6月～翌年1月	○					100人程度	中・高生を対象にボランティア登録を行い、市内のイベントや地域行事に参加する。
平川市	スポーツ課	ボランティアの募集	6月				○	平川市たけのこマラソン実行委員会	約100人	市内で行われるマラソン大会のボランティアを募集し、ボランティアとしての大会参加を促した。
西目屋村	教育課	ボランティアの募集	令和元年6月				○	西目屋村カヌー大会実行委員会	10人	村内で開催したカヌージャパンカップ・白神カップカヌー大会でボランティアを募集し、ボランティアとしての大会参加を促した。
六ヶ所村	社会教育課	ボランティアの募集	9月	○					400人程度	村内で行われるマラソン大会のボランティアを募集し、ボランティアとしての大会参加を促した。
おいらせ町	社会教育・体育課	ボランティアの募集	通年				○	おいらせ町スポーツ協会	50人	町内で行われるスポーツ大会やスポーツイベント等のボランティアを募集し、ボランティアとしての大会参加を促した。

④国スポ募金や企業協賛による協力【該当なし】

(2)すべての県民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など様々な関わりを通じて、生涯にわたりスポーツ活動に親しむ。

①デモンストレーションスポーツへの参加

黒石市	文化スポーツ課	デモンストレーション教室(バウンドテニス)の開催	9月～10月3回	○			○	青森県バウンドテニス協会	15人	デモンストレーション競技のバウンドテニスを普及することで、市民の健康づくり、生きがいづくりを図った。 ※黒石市教育委員会後援
むつ市	市民スポーツ課	青森県民スポーツ・レクリエーション祭(フライングディスク)	7月上旬				○	青森県フライングディスク協会	45	第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツとして当市で開催予定。体験参加も可能とし、競技の普及及びスポーツ・レクリエーションの普及を目的に、むつ市ウェルネスはらっぱで開催。
田舎館村	教育課	デモンストレーションスポーツへの参加	令和8年	○			○	青森県ユニカール協会	270	2日間にかけて、90チーム参加のユニカール競技を実施。

②地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室への参加

県	障害福祉課	青森県障害者スポーツ大会開催	8月～9月				○	青森県障害者スポーツ大会実行委員会 (一財)青森県身体障害者福祉協会	1,700人	県内の障害者が各種競技を通じてスポーツに親しみ、競技力の向上を図り、協調精神を養い、相互の交流を深めるとともに、県民の障害者に対する理解と認識の向上を図り、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的として開催。
	障害福祉課	障害者スポーツ教室開催	6月～3月				○	(一財)青森県身体障害者福祉協会	10人	障害者が、日常生活の中でスポーツに親しみながら健康・体力の維持増進を図るとともに、継続的なスポーツ活動へつなげるよう、また、仲間づくりや教室終了後の余暇活動の幅を広げることなどを目的として開催。
	高齢福祉保険課	あおもりシニアフェスティバル(スポーツイベント)	9月、1月				○	社会福祉法人青森県すこやか福祉事業団	約1,000名	高齢者のスポーツ、文化活動の祭典として、健康増進、社会参加及び世代間交流の促進を図り、みんなが輝いている長寿社会づくりを目的とする。 文化イベントとスポーツイベントがある。 スポーツイベントでは卓球、テニス、剣道、水泳、グラウンドゴルフ、スキー等を実施。
	スポーツ健康課	青森県民スポーツ・レクリエーション祭	7月				○		6000人	県民一人一人のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって県民の生涯を通じたスポーツ活動の実践を図り、健康で活力ある生活に資することを目的に開催した。

基本目標と具体的取組											
関連する事業											
事業実施課	事業名	実施時期	主たる実施者					参加人数	事業の内容		
			市町村	県	国	その他団体	団体名				
県	スポーツ健康課 〔青森県競技力向上対策本部〕	会場地市町村 競技拠点化 推進事業	4月～2月	○					20人	第80回国民スポーツ大会の会場地市町村が開催競技の強化を目指すとともに、開催以降も継続的な競技力向上が図られるよう、関係競技団体等と連携して競技体験教室や住民参加型イベントを開催した。	
弘前市	スポーツ振興課	スポーツ・レクリエーション祭の開催	10月	○			○	スポーツ団体等		市民がさまざまなスポーツ・レクリエーションに親しむことで、健康で快適な生活を送ってもらうことを目的に市内各所で様々なスポーツイベントを開催。	
八戸市	スポーツ振興課	八戸市総合体育大会	例年10月 ※スケート 競技は2月	○			○	八戸市 スポーツ協会	約2,500人	市内各地区対抗の市民体育大会を開催した。	
	スポーツ振興課	スピードスケート教室	11～12月	○					約150人	小学生を対象としてスピードスケート教室を行った。	
	スポーツ振興課	スーパーキッズ レスリング選手権大会	3月	○			○	青森県レスリング協会	約100人	伊調馨選手を招き、レスリング教室や講演を実施した。小学1・2年生の全国大会を開催した。	
	社会教育課	公民館講座の開催	通年	○					20人程度	体操・スポーツ吹矢・フラダンス・グラウンドゴルフなど運動・スポーツ活動に関する講座の開催。	
十和田市	スポーツ・生涯学習課	スポーツいきいき健康づくり事業	通年	○					年間延べ約200人	市民が気軽に楽しめるスポーツ教室や大会を開催するほか、地域や団体にスポーツ推進委員等の指導者を派遣してスポーツ教室を実施し、市民のスポーツの実践、健康増進等を図る。	
	スポーツ・生涯学習課	全国高校相撲十和田大会 全日本大学選抜相撲十和田大会	8月	○					選手約300人、入場者約2,600人	全国から選手を招いて高校・大学の全国相撲大会を行う。	
三沢市	障害福祉課	パラスポーツ体験イベント	10～11月	○					30	パラアスリートを講師として招き、市民を対象に複数のパラスポーツを体験するイベントを開催する。	
平川市	スポーツ課	平川市ウエイトリフティング教室	4月～3月の 毎週土曜日	○			○	青森県ウエイトリフティング協会、平川市ウエイトリフティング協会	4人	第80回国民スポーツ大会において、当市での開催競技となるウエイトリフティング競技について、県ウエイトリフティング協会より講師を派遣してもらい、市内小中高生を対象に、見学・体験教室を行った。	
西目屋村	教育課	スポーツ大会の情報発信	令和元年 6月				○	西目屋村カヌー大会実行委員会	—	村内で開催したカヌー・ジャパンカップ・白神カップカヌー大会で県内外へHP・SNS等により情報発信をした。	
中泊町	水産商工観光課	中泊町ビーチサッカーフェスタ	7月	○			○	中泊町ビーチサッカーフェスタ実行委員会	500～1,000	県内在住サッカー愛好者であることを参加資格にビーチサッカー大会を開催する。(一般の部、中学生の部、女性の部、小学生の部、エキシビジョン 計90チーム程度)	
横浜町	産業振興課	菜の花マラソン大会	5月第3日曜	○			○	菜の花フェスティバル実行委員会	1,140人	菜の花フェスティバル期間中に、県内外からの参加者が菜の花畑を見ながらマラソンを行う。 主催：横浜町 主管：菜の花フェスティバル実行委員会	
東北町	スポーツ振興課	わかさぎマラソン	7月	○					1,600人	スポーツを通じて町民のより一層の健康増進につとめるとともに、町内外のマラソン愛好者との友好親善を深め、我が町の観光及びスポーツ施設を広く紹介し、スポーツの競技力向上と普及・振興を図る。	
六ヶ所村	社会教育課	スポーツ・レクリエーション大会の開催	10月	○					260	ニュースポーツ(グラウンドゴルフ・ふらばーるパレーボール、ニュースポーツ体験コーナー)、体力・運動能力調査コーナーを設け、村民に身体を動かす楽しさを体験する機会を提供した。	
おいらせ町	社会教育・体育課	いちようマラソン大会の開催	6月下旬				○	いちようマラソン大会実行委員会	1,000人	広く県民にマラソン大会の場を提供することにより、県民一人ひとりのスポーツ活動への参加意欲を喚起するため、いちようマラソン大会を開催した。	
	社会教育・体育課	スポーツ体験教室の開催	通年				○	おいらせ町スポーツ協会	700人	県民一人ひとりのスポーツ活動への参加意欲を喚起するため、各スポーツの体験教室を開催した。	
東通村	教育委員会 スポーツ振興課	東通村スポーツフェスティバル	6月				○	東通村スポーツフェスティバル実行委員会	約320人	スポーツを通じ村民の親睦を図るとともに、スポーツの日常化を目指し、健康と体力の増進を図ることを目的に毎年開催している。	
三戸町	教育委員会 事務局	ノルディックウォーキング教室	7月～3月				○	三戸町体育協会	15	誰でも気軽に自分にあったレベルで楽しめるノルディックウォーキングを生涯スポーツとしての普及振興を図り、もって町民の健康保持増進に寄与することを目的にノルディックウォーキング教室を開催した。	
南部町	南部町名川B&G海洋センター	町総合優勝制スポーツ大会	通年	○					920	ニュースポーツをメインにした各種大会を年間を通して開催し、町内65行政区を統合編成した18チームで各大会及び総合得点で競い合う。 ※令和2年度はコロナの影響により中止	
	南部町名川B&G海洋センター	ニュースポーツin スクール	9月～3月	○					49	ニュースポーツの振興と普及を図るため、町内小・中学校に周知し、実施希望校の授業時間内に町スポーツ推進委員又は専門講師を派遣し実技指導を行う。 ※令和2年度はコロナの影響により実施期間が9月からとなったが、例年であれば5月から始めている。	

基本目標と具体的取組

関連する事業										
事業実施課	事業名	実施時期	主たる実施者					参加人数	事業の内容	
			市町村	県	国	その他団体	団体名			
南部町	南部町名川B&G海洋センター	ニュースポーツ移動教室	9月～3月	○					62	ニュースポーツの振興と普及を図るため、町内小・中学校及び町内会等に周知し、実施希望をする団体へ、町スポーツ推進委員又は専門講師を派遣し実技指導を行う。 ※令和2年度はコロナの影響により実施期間が9月からとなったが、例年であれば5月から始めている。
	南部町名川B&G海洋センター	町駅伝競走大会	11月上旬	○					229	町内外に参加者を募集し、小学校・中学校・一般の3部門の行う駅伝競走大会。岩手県山田町の小学校を毎年招待している。 ※令和2年度はコロナの影響により中止
	南部町名川B&G海洋センター	ニュースポーツ体験会	11月下旬	○					46	町内住民を対象にしたニュースポーツの実技体験講習会。 ※令和2年度はコロナの影響により中止
	南部町名川B&G海洋センター	うぐいすマラソン	4月	○					完走者669名	県内外から参加者を募集し、町内3km・5km・10kmコースのマラソン大会。町内スーパーマーケットより協賛いただき、参加賞の協力をいただいている。 ※令和2年度はコロナの影響により中止
階上町	教育課	はしかみつつじマラソン大会	6月				○	階上町体育協会	350人	2km～10kmのマラソン大会
	教育課	町民大運動会	9月	○					1,300人	町体育協会支部対抗の運動会。広く生涯スポーツを進行し、町民の健康増進と親睦を図る。
	教育課	体力向上事業(Enjoy!サイクリング)	10月又は11月	○					30人	自転車を活用した体力向上、健康増進、レクリエーションスポーツの推進を図る。
	教育課	ソフトバレーボール大会	12月				○	階上町スポーツ推進委員協議会	130人	レクリエーションスポーツを通じ、相互の親睦と健康を維持しながら、勝ち負けにとらわれず、楽しみながら心地よい汗をかく。
③ライフステージに応じたスポーツ活動の実践										
黒石市	文化スポーツ課	学校体育施設開放事業	通年	○					15人	市民の健康増進及び生涯スポーツの普及等のため、学校体育施設を開放した。
三沢市	障害福祉課	パラスポーツ体験事業	通年						500	市内小中学校において、車いすバスケットボールやボッチャ、シッティングバレーボールなどのパラスポーツを体験する事業を、授業の一環として実施する。
④プロスポーツや各種スポーツ大会等の観戦や応援										
青森市	地域スポーツ課	スポーツコミッション青森推進事業(地域のプロスポーツクラブ等交流連携事業)	年5回 8/1、9/2、11/4、12/2、12/3	○					1回あたり平均72名	○地元チームへの支援(学校訪問) まち全体で応援する気運醸成へ向けた広報支援、企業等と連携した集客支援。 ・青森ワッツ、ラインメール青森FCの選手による学校訪問を実施。(小学校3校、中学校2校)
	地域スポーツ課	スポーツコミッション青森推進事業(地域のプロスポーツクラブ等交流連携事業)	4/17～4/30、9/11～9/28、10/14～10/19	○					限定20名程度	○地元チームへの支援(交流イベント) まち全体で応援する気運醸成へ向けた広報支援、企業等と連携した集客支援。 ・青森ワッツ、ラインメール青森FCの応援イベントとして、市役所駅前庁舎にて、各チームの選手と市長のトークショーやパネル展示等を実施。
弘前市		プロスポーツ選手との交流会開催	冬頃				○	楽天		楽天球団による成果報告会の開催。
		プロスポーツ選手との交流会開催	8月				○	弘前国際スポーツプロジェクト実行委員会	50	弘前市に合宿に来た際の女子ラグビー日本代表とのラグビー体験などの交流。
	スポーツ振興課	プロスポーツ選手との交流会開催	7月	○					50	弘前市に合宿に来た際のソフトボール選手との交流。
		プロスポーツの誘致	夏から秋				○	プロ野球一軍戦誘致実行委員会		プロ野球公式戦を誘致し、市民にプロ選手のプレーを見てもらい、スポーツへの関心を高める。
八戸市	スポーツ振興課	八戸市民キッズデー	年各チーム1～3回	○					約250人	小学生が地域のプロスポーツチーム(3チーム)の試合を無料で観戦できるキッズデーを開催した。
	スポーツ振興課	八戸スポーツチーム合同イベントの開催	年1回				○	八戸スポーツ振興協議会	約30人	八戸市をホームタウンとして活動するプロスポーツチームが、合同で市民とのふれあい型イベントを実施した。
	スポーツ振興課	八戸・地域スポーツチーム応援スタンプラリーの開催	スポーツチームのリーグ戦開催期間				○	八戸スポーツ振興協議会	約100人	八戸市をホームタウンとして活動するプロスポーツチームの各チームのホーム戦を観戦し、スタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリーを実施した。
	スポーツ振興課	ホーム戦来場者プレゼントの実施	各チーム年1～2回				○	八戸スポーツ振興協議会	延べ約2,000人	八戸市をホームタウンとして活動するプロスポーツチームのホーム戦の来場者に来場者プレゼントとしてチームグッズを提供した。
むつ市	市民スポーツ課	鹿島アントラーズ少年サッカー教室	6月又は11月	○					200	プロスポーツ選手と直に触れ合う機会を創出し、競技力の向上及びスポーツの普及、進行を図る。

基本目標と具体的取組

関連する事業											
事業実施課	事業名	実施時期	主たる実施者					参加人数	事業の内容		
			市町村	県	国	その他団体	団体名				
むつ市	市民スポーツ課	むつ地区少年野球ふれあい教室	12月上旬				○	むつ地区少年野球教室育成委員会	200	プロスポーツ選手と直に触れ合う機会を創出し、競技力の向上及びスポーツの普及、進进行を図る。	
平川市	スポーツ課	日立サンディーバソフトボール教室	6月	○			○	日立サンディーバ(日立ソフトボール部)	約150人	実業団である日立サンディーバの当市運動施設での合宿中に、選手らの指導により、小中学生を対象にソフトボール教室を行った。	
	スポーツ課	東北楽天ゴールデンイーグルス野球塾	11月	○			○	東北楽天ゴールデンイーグルス	約70人	当市の球場命名契約を交わしている(株)楽天球団の選手らの指導により、市内中学生及び市内に本拠地を有するチームに所属する中学生を対象に野球塾を開催した。	
おいらせ町	社会教育・体育課	プロスポーツチーム・選手への協力	通年	○					—	地域のプロスポーツチームを応援するため、大会等のポスター・チラシを窓口に設置した。	

⑤地域のスポーツ活動の応援【該当なし】

(3)すべての県民が、来県者を熱いおもてなしの心で迎える。

①笑顔で元気なあいさつ、親切・丁寧な対応

八戸市	教育指導課	「さわやか八戸あいさつ運動」決起大会	7月	○					180人	さわやかなあいさつを通じて心のふれあいを図ることを目的に、平成12年度に取組みを開始した「さわやか 八戸あいさつ運動」を広く市民に周知するため開催した。
おいらせ町	社会教育・体育課	あいさつ運動推進のぼり旗・ポスターの設置	通年	○					—	笑顔で元気なあいさつを推進するため、のぼり旗・ポスターの設置をしている。
	介護福祉課	障害のある方への配慮	通年	○	○				—	全ての町民へヘルプマークへの理解をしてもらうため、各商業施設等にポスターの設置をしている。
三戸町	教育委員会事務局・住民福祉課	ふれあい活動	6月・8月・10月	○					100	子どもからお年寄りまで、早朝にあいさつをかわし、ふれあいながら、ごみ拾いなど清掃・環境美化活動を実施した。

②きれいな街づくりによる来県者の歓迎

青森市	清掃管理課	市民一掃きデー	4～10月までの期間中月1回				○	青森市ごみ問題対策市民会議	毎回60～250名	○清掃活動 市民の清掃意識の高揚と、明るくきれいな住みよいまちづくりを目指し、4月～10月まで毎月1回、道路や公園など公共の場所の清掃活動を行う。
	公園河川課	地域花いっぱいまちづくり事業	6月、10月	○					79団体	○きれいな街づくり 街路樹樹及び公共空地、または公園緑地の花壇に花を植え、管理を行う団体に対し花苗等を支給する。
弘前市	環境課	スポGOMI大会	10月	○					60	制限時間内に決められたエリアでごみを拾い、その種類や量をポイント化して競い合う大会を開催。
	環境課	エコ通勤の促進	通年	○					—	ウェブサイトなどにより、通勤時の自転車、徒歩、公共交通機関の利用等をPRするほか、毎週水曜日をエコ通勤デーとし、環境対策、健康増進を促進。
八戸市	観光課	観光地周辺の清掃活動実施	春～秋	○			○	地元事業者、観光関連団体等	100人程度	地元事業者や観光関連団体等の協力を得て、種差海岸などの観光地周辺のごみ拾いを実施している。
十和田市	まちづくり支援課	春のクリーン大作戦	4月				○	「小さな親切」運動十和田支部	90	官庁街通り、運動公園、稲生川沿いなどの清掃活動を行う。
むつ市	環境政策課	むつ湾海岸清掃	6月	○					100	6月1日～21日までのむつ湾週間に合わせて、むつ湾周辺に住む町内会や婦人団体に呼びかけを行い、年に1回海岸清掃を実施している。
平川市	市民課	平川市市民一斉大清掃	4月	○					約300人	市民ボランティア、企業、各種団体が参加し、市街地周辺、主要道路沿線の清掃を行った。
東北町	社会教育課	花いっぱい運動	5月～11月	○					59団体	町内会、小・中学校、事業所へ花苗の配布を行い、花壇、道路沿線等への植栽を実施。
	保健衛生課	清掃デー	4月～6月	○					2,000人	各町内会にて道路沿線等のごみ拾いや側溝清掃を実施。
おいらせ町	町民課	全町一斉清掃	4月	○					5,000人	4～10月までを市民クリーンキャンペーン期間に設定し、月に1回、公園や道路等のごみ拾いを実施している。

基本目標と具体的取組

関連する事業										
事業実施課	事業名	実施時期	主たる実施者					参加人数	事業の内容	
			市町村	県	国	その他団体	団体名			
南部町	交流推進課	達者村花壇コンクール	4月～10月	○			○	達者村づくり委員会	町内 16団体 個人1人	花で彩られた観光客等来訪者受け入れ景観づくりのため、町内の団体・個人からの募集により花壇コンクールを実施。審査会を開催し、部門ごとに最優秀賞・優秀賞・優良賞を贈呈し、結果を町広報誌で紹介。美しい花壇の造成・整備に係る対象経費に対し補助金交付。
階上町	産業振興課	階上岳・階上海岸一斉清掃大作戦	5月	○					600名	階上岳・階上海岸が三陸復興国立公園指定を受けた平成25年から毎年実施。階上町内みちのく潮風トレイル全線の清掃活動を町民・民間企業等と一体で行い、町全体をきれいな環境に整備。
	町民生活課	クリーンアップ・デー	4月下旬、10月上旬の年2回	○					不明	町民が健康で快適な生活を営むとともに、散乱ごみのない階上町を目指し、全町一斉のクリーンアップ・デーを実施する。
③のぼりや案内看板などによる来県者の歓迎										
青森市	交流推進課	観光交流サポーター運営事業	4月～3月	○					39名	○来青者の歓迎 来青者に歓迎の気持ちを伝えるため、特別列車のお出迎えやクルーズ船のお出迎え・お見送り、国際交流のサポートなどを実施。
④郷土料理やご当地グルメ、特産品でのおもてなし										
平川市	スポーツ課	平川市たけのこマラソン	6月				○	平川市たけのこマラソン実行委員会	約1,000人	マラソン参加者や大会ボランティアに、地域の特産品である「たけのこ汁」を提供し、おもてなしした。
	商工観光課	ひらかわぐるっとライド	5月	○					約30人	市の観光・絶景スポットを自転車で周遊し、ゴールした参加者に対し、名物の「平川サガリ」のふるまいと温泉への入浴券をプレゼントし、市の魅力を発信した。
(4)すべての県民が、来県者との交流を通じて、青森県の多彩な魅力を発信する。										
①豊かな自然や歴史、文化、食など、青森の多彩な魅力の紹介										
県	自然保護課	県立自然ふれあいセンター管理運営事業	通年				○	青森県森林組合連合会	870	自然保護思想の普及を図るため、自然観察会、講習会、発表会等の各種行事を開催した。
	自然保護課	白神山地ビジターセンター管理運営事業	通年				○	青森県森林組合連合会	340	世界遺産白神山地の価値と魅力・自然保護思想の普及を図るため、自然体験事業、文化継承事業を実施した。
	三内丸山遺跡センター	三内丸山縄文春祭り	平成31年4月20日～21日(令和2年度は中止)				○		2,584人	三内丸山遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力に触れ、興味・関心を持っていただく契機となるよう、春の三内丸山遺跡をフィールドに、「縄文ファッションで記念撮影！」や「縄文パノラマビュー！！」など大人から子供まで楽しめる様々なイベントを実施した。
	三内丸山遺跡センター	三内丸山縄文夏祭り	令和元年7月27日～28日(令和2年度は中止)				○		3,797人	三内丸山遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力に触れ、興味・関心を持っていただく契機となるよう、「クイズラリー」や「縄文ハンター」など大人から子供まで楽しめる様々なイベントを実施した。
	三内丸山遺跡センター	三内丸山縄文秋祭り	令和2年9月26日～27日				○		2,865人	三内丸山遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力に触れ、興味・関心を持っていただく契機となるよう、「発掘調査現地説明会」や「縄文パノラマビュー！！」など大人から子供まで楽しめる様々なイベントを実施した。
	三内丸山遺跡センター	三内丸山縄文冬祭り	令和3年2月13日～14日				○		6,042人	三内丸山遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力に触れ、興味・関心を持っていただく契機となるよう、「宝さがし」や「大型すべり台」など大人から子供まで楽しめる様々なイベントを実施した。
	三内丸山遺跡センター	三内丸山遺跡センターオープン記念特別展『縄文の色ー縄文人が魅せられた魔法の石・黒曜石ー』展	平成31年4月6日～令和元年6月9日(令和2年度春期特別展は中止)				○		13,449人	縄文時代において交易品の代表ともいえる石、黒曜石をとおして、縄文人が魅せられた色や拠点集落の実態を伝える展示を行った。
	三内丸山遺跡センター	夏季特別展「あおもり土偶展」	令和元年7月20日～9月1日(令和2年度夏期特別展は中止)				○		17,987人	縄文文化の終わりに花開いた亀ヶ岡文化を象徴する遮光器土偶をはじめ、北海道と東北地方を代表する優品を展示し、青森県とその周辺で作られた土偶の地域性、そして時間的な移り変わりから、縄文人の意識の変容や縄文文化の広がりを感じていただける展示を行った。
	三内丸山遺跡センター	特別史跡指定20周年記念企画展「三内丸山と大湯ー縄文の大集落からストーンサークルへー」	令和2年7月18日～11月8日				○		49,707人	三内丸山遺跡の特別史跡指定20周年を記念し、三内丸山遺跡と大湯環状列石を中心に、縄文時代の大規模集落やストーンサークルの魅力伝える展示を行った。
	三内丸山遺跡センター	企画展「イミテーション・ワールド」	令和3年1月23日～5月30日(令和3年度にまたがって開催)				○		21,659人	イミテーションとは「模倣、まね」という意味であり、この企画展では、三内丸山遺跡の縄文人が何かをまねて作った出土品から、縄文時代の精神世界を紹介する展示を行った。

関連する事業										
事業実施課	事業名	実施時期	主たる実施者					参加人数	事業の内容	
			市町村	県	国	その他団体	団体名			
県	三内丸山遺跡センター	さんまる縄文体験	令和2年8月3日、8月22日、12月19日、令和3年1月30日、2月27日		○				合計32人	三内丸山遺跡の価値や魅力、縄文文化に対する理解を深めるため、「発掘をしてみよう」や「ミニチュア土器を作ろう」など三内丸山遺跡の発掘調査や縄文文化に関する体験学習を実施した。
	三内丸山遺跡センター	さんまるJOMONの日	令和元年9月21日～23日（令和2年度は規模を縮小し、「三内丸山縄文秋祭り」として開催。）		○				8,805人	三内丸山遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力に触れ、興味・関心を持っていただく契機となるよう、「発掘調査現地説明会」や「縄文と星空のミュージアム」など大人から子供まで楽しめるさまざまなイベントを実施した。
弘前市	広聴広報課	シティープロモーションサイトによる魅力発信	通年	○					—	県外へ向けて、市のイベント、文化、資源など様々な魅力を発信するウェブサイトを運営。
八戸市	観光課	三社大祭などのイベントや観光施設などにおいて当市の多彩な魅力を紹介	通年	○			○	VISITはちのへ	—	地域の観光資源や食等を広く発信するため、市やVISITはちのへのHPで情報発信を行っている。また、地域の祭りやイベントで観光パンフレットを配布したり、地元名産品の販売を行ったりするなど、積極的にPR活動を行っている。
	観光課	8baseを活用した八戸圏域の多彩な魅力紹介	通年	○			○	八戸圏域7町村	—	令和2年9月に日比谷OKUROJIIにオープンした8baseを活用し、八戸圏域の魅力を紹介するとともに、令和7年度開催予定の第80回国民スポーツ大会の青森県での開催をPRする。
	是川縄文館	滑石でペンダント作り教室	5月上旬	○					16	縄文時代の装身具について学び、勾玉を滑石で作る。
	是川縄文館	縄文の布を編む講座	9月上旬	○					12	縄文時代の布「編布」について学び、実際に布を編む。
	是川縄文館	シカの角でペンダントづくり教室	9月中旬	○					11	縄文時代の装身具について学び、鹿の角でペンダントを作る。
	是川縄文館	ドングリで縄文Cooking教室	11月下旬	○					26	縄文時代の主要な食料であった木の実を調理して実食する。
	是川縄文館	考古学講座	5・6・7・12・1・2月	○					各50	第一線で活躍している研究者を招き、遺跡や考古学等について、詳しく知る機会とする。
	是川縄文館	夏季特別展	7～9月	○					7,055	縄文時代をはじめとした遺跡について、県外の貴重な資料を借用する企画展示。会期中には展示解説や講座を開催。
	是川縄文館	秋季企画展	10～11月	○					3,425	縄文時代をはじめとした遺跡について、県内の貴重な資料を借用する企画展示。会期中には展示解説や講座を開催。
	是川縄文館	冬季企画展	12～3月	○					3,001	是川中居遺跡出土品の多様で優れた造形を紹介する企画展示。
黒石市	商工課	市ホームページでの黒石製品の掲載	通年	○					—	市ホームページ上において、黒石製品の情報を掲載。更新は随時実施している。
	商工課	黒石物産パンフレットの作成・配布	通年	○					—	黒石製品のPRのため、物産パンフレットを作成し、イベントや県外での催事、打合せ等の際に配布・設置している。
	観光課	街なか情報発信事業	通年	○					—	地域の観光資源等を商店街マップや情報誌、SNS等で情報発信を行っている。また、中町こみせ通りの一部に広域公衆無線LANを設置し、観光誘客の推進及び交流人口の増加を図った。
十和田市	商工観光課	観光情報の発信	通年	○			○	(一社)十和田奥入瀬観光機構	—	機構のホームページで十和田市のイベントや歴史、食などの魅力を紹介(towada.travel)
	商工観光課	春・夏・秋まつり	春:4月 夏:8月 秋:9月	○			○	十和田市 十和田商工会議所 (一社)十和田奥入瀬観光機構	399,000	十和田の歴史や風土、魅力を伝える各種まつりを開催。(参加人数は令和元年度)
	商工観光課	奥入瀬渓流の魅力発信		○	○	○	○	十和田市 青森県道路課 青森河川国道事務所 (一社)十和田奥入瀬観光機構	—	ガイドの育成、エコロードフェスタ(10月)・氷瀑ツアー(12～2月)の開催
	商工観光課	十和田湖の魅力発信		○			○	(一社)十和田奥入瀬観光機構	200,000	十和田湖湖水まつり、十和田湖冬物語の開催。(参加人数は令和元年度)
	商工観光課	観光パンフレットの作成		○			○	(一社)十和田奥入瀬観光機構	—	十和田市の観光ガイドブック「とわだ旅」の作成。
	とわだ産品販売戦略課	グリーンツーリズム推進事業	通年				○	十和田農業体験連絡協議会	112名	農業体験メニューの提供、農家民泊の受入を実施し十和田市の魅力をPRした。(令和2年度は県内中学校の農業体験のみ実施)

基本目標と具体的取組

関連する事業										
事業実施課	事業名	実施時期	主たる実施者					参加人数	事業の内容	
			市町村	県	国	その他団体	団体名			
十和田市	とわだ産品販売戦略課	十和田奥入瀬観光大使活用事業	通年	○					—	有名芸能人の知名度を活かし、十和田産品のPRをYoutube、Instagramで発信した。
三沢市	産業観光課	あおもり10市大祭典 三沢ブランドフェア	9月下旬	○					—	県内外から「あおもり10市大祭典」へ来場する多くの人々に、三沢市が全国に誇る農畜水産物を活かしたグルメ・加工品を提供することにより、市特産品をPRし産業の活性化につなげる。
	産業観光課	MISAWA BBQ 地産地消ジャンボリー	10月上旬	○					5,500	市農畜産物を広く紹介するとともに市北部地域と「道の駅みさわ斗南藩記念観光村」を宣揚し、観光客を誘致する。また、農協・漁協、各種団体等と協力しながら市民に地産地消の良さを伝え地産地消と消費拡大を進め、地域産業全体の振興につなげる。
中泊町	水産商工観光課	町HP	通年	○					—	当町HPにてご当地グルメ、特産品等の紹介を行っている。
おいらせ町	商工観光課	観光PR強化事業	通年	○					—	地域の観光資源や食等を広く発信するため、観光情報サイトを作成した。また、地域の祭やイベントに出展して、PR冊子を配布している。
	政策推進課	町ブログ【おいぐら】で町魅力情報の発信	随時	○					閲覧者 6,000人/月	町ブログ【おいぐら】で町の魅力情報を発信している。
	総務課	SNSを通じて(町ツイッター・フェイスブック・LINE)で町魅力情報の発信	随時	○					—	町ツイッター・フェイスブック・LINEで町魅力情報の発信をしている。
南部町	総務課	町HP	通年	○					—	町の歴史・文化、食・祭りなどのイベントを紹介。
階上町	産業振興課	観光PR事業	通年				○	階上売り込み隊	25名	階上町の自然資源をガイドする団体。巨木めぐりやまちあるき、階上岳、階上海岸、町内の歴史をお客様に積極的にPR。

②地産地消の推進や青森の郷土料理、ご当地グルメ、特産品の紹介

県	総合販売戦略課	「青森の食」情報発信推進事業	通年		○				—	あおもり産品情報サイト「青森のうまいものたち」(https://www.umai-aomori.jp/)において、青森の特産品、旬の食材、注目の商品、郷土料理、青森を味わえる店、県産品を購入できるインターネットサイト等を紹介している。
	総合販売戦略課	「あおもり食のエリア」地域振興事業	通年		○				—	青森県の郷土料理やご当地グルメを6つの「食のエリア」に分けて登録し、情報冊子やホームページ等により県内外へ情報発信している。
	りんご果樹課	青森りんごで健康応援プロジェクト事業	9～12月		○		○	青森県食生活改善推進員連絡協議会	出前講座 約30人 講演会 約70人	りんごの食習慣づくりを推進するため、親子等を対象に、出前講座や講演会を開催して、りんごの栄養や機能性など、りんごの魅力を紹介した。
青森市	あおもり産品支援課	あおもり産品販売促進事業	通年	○			○	あおもり産品販売促進協議会	—	○特産品の紹介 協議会のホームページやSNSを使って、市産農林水産品の旬の情報やレシピ等の情報発信を行う。
	中央市民センター	生涯学習支援事業	通年 (中央ほか3地区市民センターで計5回実施)	○					10名程度	○地産地消・食育活動の推進 市民センターにおいて、県産品を使った料理の講座を開催。
弘前市	健康増進課ほか	食育関連事業	通年	○					—	地産地消、食生活改善、農業連携、多世代交流など様々な事業と連携した食育事業を実施。
八戸市	観光課	当市の郷土料理、ご当地グルメ、特産品の紹介	通年	○			○	VISITはちのへ	—	当市の郷土料理、ご当地グルメ、特産品を広く発信するため、VISITはちのへのHPで情報発信を行うとともに、オンラインショップを展開し、地元産品を販売している。
	農業経営振興センター	八戸いちごスイーツづくり体験会、マルシェの開催	年4回程度	○					体験会: 約30人 マルシェ: 約4,000人 (来場者)	八戸いちごの魅力を広げ、更なるブランド化を図るため、親子を対象とした八戸いちごのスイーツづくり体験会を実施。 マルシェでは、市内菓子店が作製した新作八戸いちごスイーツのコンテストやいちご大福づくり体験会、八戸いちごクイズラリー等を実施するほか、市が作成した「八戸いちご」のパンフレットを配付しPRしている。
	農業経営振興センター	伝統野菜を使った料理づくり体験会の開催	年1回程度	○					約20人	八戸市の伝統野菜である糠塚きゅうり・食用菊の継承と食材としての魅力を高め、地域の食文化を発信するため、伝統野菜を使った料理教室や市内飲食店が開発したメニューによる食事会等を実施している。
	農業経営振興センター	八戸ワインフェス、セミナーの開催	年4回程度	○			○	フェス: 八戸ワインフェスティバル実行委員会	フェス: 約400人 セミナー: 約40人	平成26年度から新産業として、八戸ワイン産業創出プロジェクトを展開。そのうち、八戸ワインの認知度向上とブランド化の推進のため、先進地から講師等を招いたセミナー等を実施している。

基本目標と具体的取組

関連する事業											
事業実施課	事業名	実施時期	主たる実施者					参加人数	事業の内容		
			市町村	県	国	その他団体	団体名				
黒石市	商工課	「宮古市産業まつり」への参加	10月上旬	○			○	黒石物産協会	5名	姉妹都市である岩手県宮古市で毎年開催されている「宮古市産業まつり」に参加。黒石物産協会と連携し、黒石産品の販売、PRを行っている。	
十和田市	とわだ産品販売戦略課	おいしい十和田グルメフェア	10月～11月	○					365人	飲食店における地産地消を推進するため、地産地消メニューを提供する25店舗の飲食店で対象料理を食べた方に抽選で特産品を贈るフェアを実施した。	
	とわだ産品販売戦略課	おいしい十和田発信強化事業	8月、10月、12月、2月	○					—	十和田市産食材を使用したレシピをInstagramで4回発信し紹介した。	
むつ市	シティプロモーション推進課	むつ市地産地消運動協力店感謝祭	11月上旬	○					約1,000/日	地産地消運動の推進を目的に、同運動に協力する事業者が一堂に会し、展示販売を行うイベント。	
平川市	農林課	ひらかわフェスタ	9月	○					約16,800人	市の食育や地産地消のイベントとして開催、平成29年度からは「津軽の桃」の販売をメインに実施している。	
	農林課	地元料理の技術継承事業	2月	○					8人	昔ながらの地元料理の食文化を継承するため、20～50代の市民を対象に料理教室を開催するほか、市民から募った家庭料理の調理の様子を記録し、ホームページ等でレシピを公開する。	
階上町	産業振興課	観光PR事業	年2回程度				○	臥牛の郷生活研究連絡協議会	15名	階上町の伝統料理を伝承する伝統料理講習会を開催。特産品を活用したメニューを紹介し、地元の食文化をPR。	
	産業振興課	観光PR事業	通年	○					—	郷土料理や特産品の物販等による観光PR活動を実施。	
③地域ブランドの積極的なPR											
県	新産業創造課 ライフイノベーション推進G	プロテオグリカン販路拡大等支援事業	通年				○	(一社)あおもりPG推進協議会		本県で世界初の量産技術が開発されたプロテオグリカン「あおもりPG」は、膝関節の保護や可動性のサポートなど、スポーツにとって重要な機能性を持つ成分である。県内約40社がサプリメント等の商品として販売し、地域産業として発展している。令和2年度は、首都圏展示会への出展、県内新聞折込広告等によるPR、台湾での知事によるPRイベントの実施、フェリシモや越境ECによる通信販売販路の拡大支援、産学官金の関係機関の連携促進などに取り組んだ。	
青森市	水産振興センター	ナマコの食ブランド化推進事業	通年	○			○	あもおりナマコブランド化協議会	100名	○地域ブランドのPR ・あもおりナマコPRキャラクター『ナマポン』によるイベント時でのPR。 ・ナマコPRグッズの製作、イベント時での配布。	
十和田市	とわだ産品販売戦略課	十和田湖ひめますスタンプラリー	9月～11月				○	十和田湖ひめますブランド推進協議会	869人	十和田湖ひめます認証店30店舗を対象にスタンプラリーを開催した。十和田湖ひめます料理を食べるとスタンプを1つ付与し、集めたスタンプの数に応じて抽選で30名に十和田市・小坂町の特産品を提供した。	

青の煌めきあおもり国スポ・青の煌めきあおもり障スポ

広報ボランティア募集要項（案）

1 目的

2026年（令和8年）に青森県で開催する「青の煌めきあおもり国スポ（第80回国民スポーツ大会）」及び「青の煌めきあおもり障スポ（第25回全国障害者スポーツ大会）」（以下、「両大会」という）の開催周知と気運醸成を図るとともに、県民総参加による大会を実現させるため、広報ボランティアを募集・組織し、県内各地での各種イベントと連携した広報活動や県民運動の普及推進を図ることを目的とする。

2 募集主体

第80回国民スポーツ大会青森県準備（実行）委員会（以下、「県準備（実行）委員会」という。）

3 募集日程

2022年（令和4年）から2025年（令和7年）まで、毎年同じスケジュールで募集する。

- (1) 5月 募集開始
- (2) 7月 募集締切
- (3) 8月 研修会
- (4) 9月 広報活動開始

4 活動期間

2022年（令和4年）9月～2026年（令和8年）10月末日

5 活動場所

県準備（実行）委員会主催のイベント及び県準備（実行）委員会が活動を認めた県内のイベント等

6 活動内容

県・市町村・競技団体等が主催する各種イベント会場等において、次の活動を実施する。なお、着ぐるみを使用する場合は、健康・安全面に十分に配慮し、活動を行う。

- (1) 啓発グッズ等の配布や着ぐるみによる啓発活動
- (2) イベント等でのブース出展における参画・設置・運営
- (3) 青の煌めきダンスを習得し、各種イベント等で披露する等、ダンスの普及活動

- (4) 県民運動（地域の環境美化運動や清掃活動、総合開・閉会式や各競技会の運営ボランティア、観戦・応援、イメージソングの普及 等）への参画
- (5) その他の広報PR活動

7 応募要件

高等学校・大学・短期大学・専門学校等に在学し、県内に在住又は県内の学校に通う生徒・学生は応募できるものとする。

8 募集人数

初回の募集人数は50人程度とし、開催1年前の2025年（令和7年）までに200人程度の広報ボランティアを確保できるよう、募集する。

9 応募方法

両大会に係るボランティア専用ホームページの応募フォームに必要事項を入力して申し込むか、または応募申込用紙に必要事項を記入の上、郵送・FAX・持参・メールのいずれかの方法により申し込むものとする。

なお、グループでの申込もできるものとする。

10 登録・取消

応募要件を満たし、事前研修を受けた者を両大会の広報ボランティアとして登録する。ただし、応募年の4月1日時点で18歳未満の者は、応募の際に保護者の同意を要するものとする。

広報ボランティアとして登録した後は、応募要件を満たす限り、活動を終了する2026年（令和8年）10月末日まで、広報ボランティアとしての活動を継続して行うものとする。

なお、本人の申し出によるほか、両大会のイメージを損なう行為等があった場合は、県準備（実行）委員会の判断に基づき、登録を取り消すことがある。

11 待遇

- (1) 報酬は支給しない。（交通費は支給あり。）
- (2) ユニフォーム等識別用品を支給する。
- (3) 県準備（実行）委員会の負担で、「ボランティア活動保険」に加入する。

12 個人情報の取扱い

応募者の個人情報については、両大会の広報活動実施のための業務以外には使用しない。ただし、申込時において、各市町村等への情報提供に同意した者（応募年の4月1日時点で18歳未満の場合は、保護者の同意を得た者）の個人情報は、各市町村等へ参考情報として提供することがある。

13 問い合わせ先

第 80 回国民スポーツ大会青森県準備（実行）委員会事務局
（青森県企画政策部国民スポーツ大会準備室内）

〒030-8570

青森県青森市長島 1 丁目 1 番 1 号

TEL : 017-734-9703 FAX : 017-734-8032

E-mail : kokuspo@pref.aomori.lg.jp

14 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

青の煌めきあおもり国スポ・青の煌めきあおもり障スポ

運営ボランティア募集要項（案）

1 目的

2026年（令和8年）に青森県で開催する「青の煌めきあおもり国スポ（第80回国民スポーツ大会）」及び「青の煌めきあおもり障スポ（第25回全国障害者スポーツ大会）」（以下、「両大会」という）の開催にあたり、全国から訪れる選手・監督等の来県者を県民総参加によるおもてなしの心でお迎えするため、両大会の開・閉会式等の運営を支える運営ボランティアを募集する。

2 募集主体

第80回国民スポーツ大会青森県準備（実行）委員会（以下、「県準備（実行）委員会」という。）

3 募集人数

青の煌めきあおもり国スポ（第80回国民スポーツ大会）	1,700人
青の煌めきあおもり障スポ（第25回障害者スポーツ大会）	3,500人

4 募集期間

2022年（令和4年）7月から募集人数に達するまで

5 応募要件

2014年（平成26年）4月1日以前に生まれた方（2026年（令和8年）4月1日時点で12歳以上）で、両大会の活動日での参加が可能な方。ただし、応募時点で18歳未満の方の申込については、保護者の同意を得るものとする。

6 応募方法

両大会に係るボランティア専用ホームページの応募フォームにより申し込むものとする。
なお、グループでの申込もできるものとする。

7 登録・取消

応募要件を満たし、事前研修を受けた者を運営ボランティアとして登録し、運営ボランティア登録証を交付する。

なお、本人の申し出によるほか、両大会のイメージを損なう行為等があった場合は、県準備（実行）委員会の判断に基づき、登録を取り消すことがある。

8 活動内容及び活動日

両大会の開・閉会式及び青の煌めきあおもり障スポ（第25回全国障害者スポーツ大会）の各競技会場における来場者の受付・案内等の業務を補助する活動を行う。

(1)活動種別・内容

種 別	内 容
受付・案内	来場者受付、会場案内、誘導、介助等
会場整理	観客改札、観客誘導、座席案内等
会場美化	ゴミ箱管理、会場内の清掃等
会場サービス	弁当・飲み物の配布、車椅子の貸出等
式典運営	開・閉会式の式典補助等
医療救護	救護所での救護活動の補助等

(2)活動日

区 分		活動日（2026年）	場 所（予定）
青の煌めきあおもり国スポ	総合案内所等	総合開会式開催日の前日から 総合閉会式開催日まで	青森市
	総合開会式	9月中旬から10月中旬	青森市
	総合閉会式	9月中旬から10月中旬	青森市
青の煌めきあおもり障スポ	リハーサル大会	未定	未定
	公式練習日	未定	
	各競技会	未定	
	総合案内所等	公式練習日から閉会式開催日まで	青森市
	開 会 式	未定	青森市
	閉 会 式	未定	青森市

9 活動日及び配置箇所の決定

登録者の活動日・配置箇所については、事前に実施する希望調査を参考に、県準備（実行）委員会が決定する。

10 研修等

県準備（実行）委員会は、両大会に関する認識を深め、開・閉会式等の円滑な運営を行えるよう、登録者を対象とした研修等を実施する。

11 待遇

- (1) 活動及び研修等への参加に係る報酬は無償とし、交通費は自己負担とする。
- (2) 服飾等の識別用品及び昼食については、必要に応じて、県準備（実行）委員会が支給する。
- (3) 活動及び研修にあたり、県準備（実行）委員会の負担により、「傷害保険」及び「賠償責任保険」に加入する。

12 関係機関との連携

運営ボランティアの募集にあたっては、各会場地市町村（準備（実行）委員会等）と連携を図るとともに、学校、企業、社会福祉協議会及びNPO等の各種団体の協力を得るものとする。

13 個人情報の取扱い

- (1) 応募者の個人情報については、青森県個人情報保護条例、その他関係法令の規定に基づき、その保護を図るものとする。
- (2) 登録者の個人情報については、両大会の運営のために使用し、その他の目的には使用しない。ただし、申込時に各会場地市町村等への情報提供に同意した登録者（応募時点で18歳未満の場合は、保護者の同意を得た者）の情報に限り、各会場地市町村等からの要請に応じて提供することができるものとする。
- (3) 登録者を活動や研修の際に撮影した写真・動画については、両大会を広報する目的の限りにおいて、県準備（実行）委員会のホームページやSNS、その他広報媒体に掲載できるものとする。

14 問い合わせ先

第80回国民スポーツ大会青森県準備（実行）委員会事務局
（青森県企画政策部国民スポーツ大会準備室内）

〒030-8570

青森県青森市長島1丁目1番1号

TEL：017-734-9703 FAX：017-734-8032

E-mail：kokuspo@pref.aomori.lg.jp

15 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。